

研究者名：野村 松信（美術教育センター 教授）

研究課題名：領域横断型 PBL 演習授業のための自己診断に基づくフィードバックシステムの開発

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：平成31年度～令和3年度

※補助事業期間を令和5年度まで延長

【研究概要】

本研究の目的は、領域横断型 PBL 演習授業受講者のための、自己診断に基づくフィードバック機能を備えたポートフォリオシステムを構築することである。これまでわれわれのグループでは、さまざまな分野の学生が協力して課題に取り組む、領域横断型 PBL ワークショップを定期的で開催してきた。教育ワークショップにおいては、きめ細やかな評価とフィードバックが重要になるが、講師が、課題解決のためのアドバイスや成果物の評価に追われ、議論の進め方や共同作業への個々のメンバーのとり組み姿勢といったチームワークの質に関しては十分なフィードバックを与えることが困難であることが分かった。そこで本提案研究では、参加者が簡単に自身のチームワークについて診断できる機能を備えたポートフォリオシステムを開発する、提案システムによって、参加学生は自身の成果物やチームワークに対する評価をいつでも確認することができる。また講師は、ポートフォリオと自己診断の分析を参照することで、チームに効果的な指導を与えることができる。